

厚生労働省により  
ワクチンの積極的勧  
奨は再開されていま  
す。  
2023年4月からは  
高い予防効果がある  
9価ワクチンが公費で  
受けられるようにな  
りました。

接種できる福島  
区医師会の医療  
機関は、こちらか  
らご確認ください

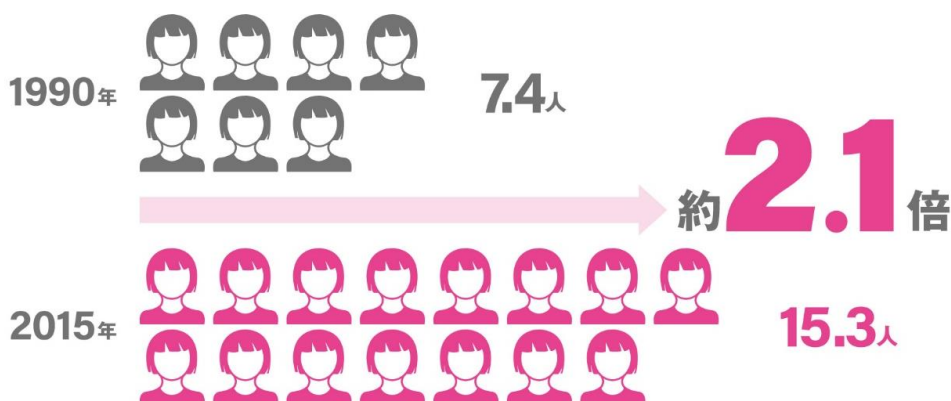


# ストップ 子宮頸がん!

福島区医師会は子宮頸がんワクチンを推奨します

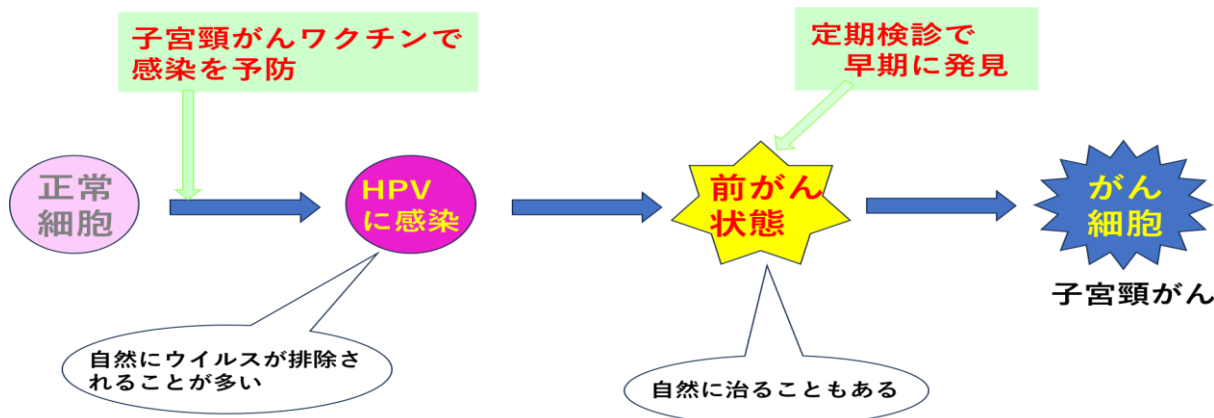
子宮頸がんは、  
20~30歳代の若い女性に増えています

20代~30代女性 子宮頸がん発症率 (10万人あたり)



日本では、毎年約10000人もの  
女性が子宮頸がんと診断され、  
約2800人が子宮頸がんで亡く  
なっています。また20歳代後半  
から30歳代という子宮頸がんの  
発症年齢と出産年齢のピークが  
重なります。

# 子宮頸がんの原因のほとんどがヒトパピローマウイルス (HPV) です。



HPVはありふれたウイルスで80%以上の女性が生涯で普通に感染するといわれています。感染の機会のほとんどは性交渉によります。感染しても多くの場合は自然に排除され問題にならないのですが、中には感染が持続することがあります。感染が持続した場合、少しずつ細胞が変化していき、やがて子宮頸がんとなるものがでてきます。

## 子宮頸がんの予防にはワクチンと検診の両方が重要です!

子宮頸がんワクチンで  
HPV感染を予防



20歳以降に  
2年1回の定期検診

以下の方は公費で子宮頸がんワクチンを接種できます。

### 定期接種対象者

小学校6年生～高校1年生相当の女子

### キャッチアップ接種対象者

誕生日が1997年4月2日～2007年4月1日の女性で過去に子宮頸がんワクチンを計3回受けていない方

公費で接種できるのは2025年3月末まで  
(公費で接種を完了するには2024年9月末までに1回目の接種が必要)

### 9価ワクチンの接種スケジュール

1回目を15歳までに受ける場合



1回目を15歳以降に受ける場合



注1) 1回目から5ヵ月以上はあける。5ヵ月未満で接種した場合は3回目が必要になる。

注2) 1回目から1ヵ月以上はあける。

注3) 2回目から3ヵ月以上はあける。

新しい9価ワクチンでは原因となるHPVの80～90%を防ぐことができます。さらに子宮頸がんワクチンでは防ぎきれない型のHPVがあることやHPV感染以外の原因によるものも少数ながらあるので20歳以降の2年に1回の定期検診も欠かせません。